



木材ルネサンスの鍵は木材価格が山元へ還元される事！

8 月 25 日 NHK「クローズアップ現代」で「日本発」木材ルネサンス“へ”という番組が放映された。今までに紹介してきた「CNF(セルーストファイバー)」や「CLT(直行集成材)」 「宇宙船」等の他に、愛媛県鬼北町で来春稼働予定の「改質リグニン製造工場」等を取り上げていた。

「世界一安い木材」と言われてきた杉材は他の樹種に比べて、化学構造が比較的均一なリグニンを含有しており、安定した工業材料として加工しやすい性質があるそうだ

鬼北町では、年間 16000 m³の杉材から 2000 トンの改質リグニンを生産する予定だと言う。製材用原木と違い、どんな形状でも構わないので、製材端材や切捨て間伐材も利用できる。30 数年前に読んだ本に「木材から石油由来の製品のほとんどが出来る。但し製造コストが問題」とあり、木材の将来性に期待した。この番組でそれを思い出した。「製造コストは？」

「製材他の既存産業との競合は？」等と疑問がわいたが、番組では問題提起に終わった。日本の山は所有規模が小さく、急峻で林道などの設置率が低い。こういった山では伐採コストが掛り、木材が少々高く売れても山主に返るお金は少ない。山元へ還元されなければ、山の手入れが行き届かなくなり、山は育たないだろう。木材の新しい活用は素晴らしい事だが、日本の林業自体の変革なしには需要に見合った供給が難しくなり、既存企業やバイマス、輸出等との競合だけが残りの、価格の不安定さは残るだろう。コロナ禍に「ウッドショック」と言われた時の木材価格が 50 年前の価格より安かった事を思うと、「改質リグニン」の価格が高価である事と、製造コストが安い事が鍵であり、取引される丸太価格が既存産業への影響をどれだけ抑えることができるか。問題は山積している

【情 報】

「鹿児島県労働安全衛生大会」が開催されます！

日 時 10 月 2 日(金) PM1:30~4:00

会 場 カクイクス交流センター

講 演 「今後の産業保健について」 厚労省産業保健支援室長 樋口 昌澄氏

「伝えることはムズかしい」 鹿島建設安全環境部専任 音頭 誠 氏

「全国労働災害防止大会」が開催されます！

日 時 10 月 15 日(木) PM1:00~4:30

会 場 熊本城ホール メインホール

講 演 「再起可能～言葉で繋がる心の絆～」 木村 和也氏

「最近の労働安全衛生の動向について」

労働基準部長

労働災害の撲滅と快適職場の実現を願って上記大会が開催されます。

【定休日】

9 月は 5, 6, 12, 13, 19, 20, 21, 23, 26, 27 日

10 月は 4, 5, 11, 12, 18, 19, 25, 26 日となります

宜しくお願いします



木材ルネッサンス

(お問い合わせは、吉崎まで)